



特集●終わりのない子育てと母育で

知覚動考●私たちのチャイルドケア

Information●2014年下半年期
スクーリング&講習会 他

ライフスタイル を持とう

何気なく使っている「ライフスタイル」という言葉。その定義をご存知でしょうか？ 意味合いとしてはとても幅広く、衣・食・住に関する選択の結果と言う単なる生活様式、行動様式だけではなく、人生観・価値観・習慣などを含めた個人の生き方や、アイデンティティなども含まれます。アイデンティティとは、自己同一性のことで、「自分は何者か、何をすべきか」という個人の心の中に保持される概念です。

自分のライフスタイルを持つことは、自分の生き方や子育ての方法にも当然影響します。

10年以上も前になりますが一頃「LOHAS（ロハス）」という言葉がブームになりました。「LOHAS」とは、「Lifestyles of Health and Sustainability」の略で「環境や健康に配慮した新しいライフスタイル」のこと。エコロジーやオーガニックという言葉がうたわれ、ヨガやランニング、様々なセラピーやエクササイズをすることに注目が集まりました。女性誌で特集し、20代～30代の女性を中心となりブームを巻き起こしたのです。

その女性たちが結婚し、子育てをするようになり、その流れは子育てにも影響しています。チャイルドケアは、昔からある子育ての見直しや営みを大切にしながら、自然



を感じ、自然との調和を図りながら子育てや生活を行うものですから、LOHAS的な要素は含まれます。

そんなLOHASに、最近は二つの面が出てきました。本来のLOHASは、環境や健康に配慮するだけではなく、実際に地球環境や社会問題に取り組み活動していることを指していましたが、LOHASの考えやライフスタイルに企業が参入したことで、「考え」から「モノ」に変換されるようになりました。「LOHAS」商品を利用する消費者がLOHAS層に加わったのです。「知っている」「使っている」という「消費行動」という価値観が生まれてきたわけです。情報の氾濫と消費行動によって価値観が変わってしまうのです。

チャイルドケアでも同じことが言えます。「ベビーマッサージをしている」「アロマセラピーをしている」「ハーブティーを飲む

でいる」だけでは、本来のチャイルドケアの考えではありません。チャイルドケアは、皆さんのライフスタイルを築くための一つの提案です。つまり考え方や生活の価値観に注目し、それを子育てや生活にどのように生かしていくかがチャイルドケアの学習です。

もし、学習につまづいていたり、資格を取っても迷いがあるとしたら、それは「モノ」「方法」を消費するだけのチャイルドケアになっているのかも

しれません。子どもの成長に合わせて母も考える力を持ち、柔軟に取り組めるようになることが必要です。モノがなくてもできること、方法を知らなくても工夫できることを考えてみることをチャイルドケアではお伝えしています。

チャイルドケアをお伝えしている方は、チャイルドケアの「考え」を意識してください。知識や方法を伝えることはきっかけです。それ以上に、もっとお母さんたちに自信をもってもらえるよう、お手伝いいただければ嬉しく思います。そこに気づけば、チャイルドケアがさらに終わりのないケアとしてつながっていくことでしょう。

チャイルドケア講師 松本美佳

●参考文献 「新しいライフスタイルの創出と 地域再生に関する調査研究」財団法人 日本総合研究所



特集

終わりのない 子育て と親育て



本講座は、未就学の子どもを
便宜上学習の対象とし、学習は
半年から1年で終わってしまう
ものです。しかしMC会員の中
には、学習を終えても5年、10
年と継続し、お子さんが大きくな
られても現在進行形のチャイル
ドケアを実践されている方が多
くいらっしゃいます。学習する中
で年齢に関係なく「母育て」「自
分育て」「命を育てる」ことにつ
ながっていることを実感されて
いるのだと思います。ただし、
テキストでは、具体的に示して
いるわけではありません。その
ため浸透していないことも多い

のです。講座名の「チャイルド」
がどうしてもダイレクトに「子ど
も」と認識されますから、その
「チャイルド」に地球を母とす
る子ども、すべての命というこ
ろまで結びつかないのでしょ
う。

わかりやすいネーミングに変
えたほうが理解してもらいやす
いという意見もありましたが、巧
みな言葉で説明するよりもこの
「チャイルド」の言葉の深みに
気づくことのほうが大きい学習
成果になると考えています。

今回は継続的にチャイルドケア
を学び実践されているMC会員

の皆さんの声を寄せていただき
ました。そこで気づいたことは、
皆さん子育てというよりも「母育
て」をしているということです。

皆さんの子育ての中にこの
チャイルドケアが浸透し、「母」
として自信を積み重ねているのだ
と思います。「母になることは容
易い、母で居続けることは難し
い」と言う言葉がありますが、母
でいる努力は子育てに反映さ
れ、生活を活性させるのでしょ
う。私自身のチャイルドケアもま
だ進行形です。

チャイルドケア講師 松本 美佳

子どもの成長と「母育て」

共育・響育
今日生く



チャイルドケアに「育むケア」「見守るケア」「看
取るケア」の3つのステージがあることはガイドブッ
クや、会報誌でもお話ししてきました。さらにチャ
イルドケアは、家庭教育を考えるものであり、家庭の
中で人間力や生きていく力を築き、社会とのかけは
しになる教育を行うものと提案しています。

ただし、教育という特別な学問を指導するもので

はなく、教育はいわば、共に育つことを大切にする「共育」であり、お互いの心を感じ合い、共感性を大切にし、響き合わせながら育む「響育」、そして一日一日を大切に生きていくことを提案する「今日生く」を行うものです。

チャイルドケアの子育てでは、常にこの3つの教育を考えていくことが大切です。つまり、子育てに年齢で制限を設けて、知識や方法的な提案をするのではなく、命のケアとして考えていくことです。学習されている中で、ここに目標を見つめられた方は、チャイルドケアは、終わりのないことに気づかれます。

そして、子どもに寄り添うことで、「共育」「響育」「今日生く」を行いながら母育てをすることで、子どもが成長して行く段階のさまざまなターニングポイントもしっかり捉えて、乗り越えることができるのです。チャイルドケアは、子どものケアだけだと思っている段階では次に進めません。「母」を育てていくケアであることにも、ぜひ気づいてください。

未就学

生きていくための 生命力をつくる

チャイルドケアの基本の「育むケア」の土台は、未就学までが大切です。「三つ子の魂百まで」の言葉もありますが、子どもの成長の発達段階に合わせた教育やしつけが大人になっても影響していくと言われています。親からの愛情もこの年齢までに経験し感じ取っていない場合には、心理面にも大きく影響することもわかってきました。最近の早期教育は、「脳教育」にまでおよび、そのためのさまざまな方法が注目され、「語学力がつく」「記憶力がある」「計算が早い」などというメリットがうたわれますが、早期教育が注目され30年以上たつ中、子どもたちの問題に、「学力低下」



「学級崩壊」「いじめ」「引きこもり」「登校拒否」「ネット中毒」など以前はなかった問題が増えています。

情報社会により子育ても流行に左右されるようになりました。そのことにより、本来は普遍的に大切にされるべき子育ての方法がおろそかになってきているとも言えるでしょう。

チャイルドケアでは、まさにこの普遍的な子育てをこの時期にきちんと行っていきましょう。特別なことではありません。スキンシップの大切さ、愛情を伝える様々な方法、子どもの成長に合わせた楽しみ方、子どもと過ごす楽しい経験。これらは全て生きるために大切なことであり、これらが、心と体の基礎力になります。

母もまた、そうした時間を子どもと共に過ごし、経験を重ねることで、母として育ち、母育ての基本が作られていくのです。ここで母としての基盤ができていなければ、実はその後の子どもの成長で、さまざまな対応に問題が起こります。

未就学は、子どもの生きる力を育むだけではなく、母としての基礎力をつける大事なときです。基礎力とは、様々な情報に流されず「母」として自信をもって子どもに向き合いながら、自分の子育てスタイルをもつことにつながります。



小学生

（生かしていくための 人間力をつくる）

・小学生（低学年）

幼児から、児童に呼び方も変わり、子どもの環境は大きく変わります。学校に入れば自由も制限され、自制し、協力したり、協調したり、自主的に取り組むことも増えます。とはいえ、さまざまな成長の格差が大きい時期なので、戸惑うことも多くあります。それでも子どもは可能性をもち、これから始まる未来に希望をもってさらに成長しようとしてがんばっています。親としても心配ばかりはしてられません。低学年では、育むケアと同時に見守るケアも、親として少しずつ学び始めなければなりません。焦ることはありません。昨日よりも今日は確実に成長していますから、「今日生く」を大切に、子どもの成長を不安から期待に変えていくことです。そして、今日一日がんばったことをきちんと認めること、それがこの時期のケアになります。

・小学生（中学年）

子どもらしい子どもの時ともいえるのがこの時期です。善悪が理解でき、人との関係性がわかるようになり、自分のことは自分でできるようになるため、親も手が離れ、目を離しやすくなる時期でもあります。お友達とのかかわりが楽しくなり、自分たちだけの「子どもの世界」を築いていく時期です。子どもは子どもなりに人間関係や学校と家庭との関係性、自分の家庭と他人の家庭との関係性など意識するようになります。親としてはつい、「お友達とうまくやっているのかしら?」「学校は楽しいのかしら?」とすぐに問題となるような要素を探してしまいがちです。これもまた情報が先にはいるために、まだ起こってもいない心配を先走りして、不安を抱えてしまう親も多いのです。だから子どもが帰宅すると、子どもに「いじめられていない?」「今日は楽しかった?」など尋問のようなことをしてしまうのでしょうか。子どもは学校のことや友達のこともたくさん話したくても、これでは、話したくなくなってしまいます。この時期で大切なのは「傾聴」。子どもを信じて、子どもから話したくなるような状況を作ることがケアになります。

命令したり、指導したり、ダメだししがちな親の言動を控えて、子どもの言葉に耳を傾けてあげてください。例え、少々嫌な思いをしたり、辛いことがあっても、親に話す

ことで、冷静になったり、自主的に考えられるようにな



り、辛いことやしんどいことも乗り越えて成長していくのです。辛いこと、しんどいことを取り除くことがケアではありません。上手に乗り越えられるサポートを行っていきましょう。

・小学生（高学年・思春期）

第二性徴期となるこの時期は、子どもの成長の中で、また子育ての中でも大きなターニングポイントになる「思春期」が始まります。心も体も大人になっていく準備に入ります。急激な体の成長に心はなかなか追いつかず、常に不安定な時期になります。急にご機嫌になったり、不機嫌になったり、大人っぽかったり、子どもに戻ったり。

この時期特有の子どもの状態ですが、毎日子どもの状況が違うため、親は振り回されてしまい、不安を持ってしまう時期でもあります。思春期の子どもを持っている親の悩みに「子どもが何を考えているのかわからない」と言う言葉をよく耳にします。でも、子ども自身の方が初めて感じる成長の変化にもっと戸惑っているものです。チャイルドケアで学習した「育むケア」がしっかりできていて、低学年や中学年で少しずつ見守ることを学んできていれば、ここで「見守るケア」が発揮されるわけです。「みる・きく」を親自身がしっかり働きかけ、子どもの言葉になっていない様子をしっかり知ることが大切なケアになります。

中・高校生

（生きぬくための 社会力をつける）

思春期も本格的に入ってくる時期、子どもから大人に心と体だけではなく、精神も育っていく時期です。自分の考えや価値観を持ち始め、興味も家庭から学校へ、学校から社会へとエネルギーがどんどん外に向かいます。しかし、一見外側に向けられているエネルギーですが、同時に自分を

深く見つめ内観することも増え、「自分」というものの価値を見出そうとする時期でもあります。

夢と希望を持ちながらも、現実と直面することが増え、自分の未来や大人になることへの不安も抱えます。親はどうしてもこの時期、受験や将来のことを考えるため、現実的な側面から子どもに接することが増えていきます。そのため子どもと意見がぶつかることも多くなります。

親は子どもが可愛いからこそ、助言したり、合理的にものごとをすすめようとしてしまいがちですが、子どもの思いや考えをまず受け留めていくことが大切です。また親としてではなく、自分が歩んできた思春期を先輩として話してみることです。そして成功したことよりも失敗や、くじけたときのことを取り上げて、どのように克服してきたか、どのような悩みを抱えてきたかなどの経験談のほうが、体裁のいい方法を示すよりも、子どものサポートになることがあります。

そして大人になることへの不安よりも大人になることへの期待を親子で築くことです。親として、子どもだけに目を向けるのではなく、親子で社会を考えていく機会を作っていきましょう。



イラスト：いとうようこ

私たちの現在進行形の チャイルドケアライフ



「育む」から「見守る」の チャイルドケアへ

小学生編

CCI 近藤優子さん(千葉県)

小学6年生と2年生の男の子がいます。チャイルドケアと出会い、忘れていた大切なものに気づけることがとても嬉しく、私も周りの方々にも伝えて行きたいと思っています。

私がチャイルドケアに出会ったのは、実はまだ浅く2年前になります。次男のケアにしたいと思い受講しました。それと現在小学6年の長男の子育てで苦労したため、子育てで困っているお母さんに何かできないかと思い、直感でこの講座を受講したのがきっかけです。幼少期より苦労の多かった長男は、赤ちゃんの頃から疳の虫が強く虚弱体質で性格はむずかしく、幼稚園の頃は休みがちでした。良くなって欲しいとマッサージを毎晩行って小児鍼へも行ったところ効果があり、それが自然療法との出会いだったのかもしれません。

小1、小2は引越しによる環境の変化と乱暴なお友達に耐えられず、小4は担任の先生が威圧的で登校できなくなることも。その頃は、まだチャイルドケアに出会っていなかった私は、いつも焦りと不安で精神的に弱い息子を叱ったりしていました。

そして今、ギャングエイジと呼ばれる年齢に入ってきました。長男は、「とにかく何でも自分の思い通り。でも結果はどうでもいい」の日々。チャイルド

ケアを知っていればきっと「失敗を経験することも子どもには大切な勉強」と思えたのですが、「子どもがちゃんとできないのは親の責任」と思い、何が何でも言うことを聞かせようと私の考えを押し付けていました。

しかし、チャイルドケアの勉強をするようになり、またスクーリングや公開講座に参加するようになって、私の長男への向き合い方は変わりました。何度か注意をしても言うことを聞かないときは「どうぞ経験してください」という気持ちで見守ることができるようになり、それからは私も毎日がとても楽になり、子どもと笑いながら会話をする時間も増えてきたのです。次男のために勉強したチャイルドケアは、何よりも長男のために生かされていました。

長男の子育てに悩み、さまざまな育児書を読んだもののどの本にも当てはまりませんでしたが、チャイルドケアで、子どもに合わせて寄り添うことを知りました。そうすると、私も子どもが荒れていると「学校で何かあったのかな?体調がわるいのかな?」といういろいろな角度から様子を見ることで冷静にとらえることができるようになりました。そして、子どもに「寝不足でイラ

イラしているんじゃないの?」と伝えたりすると、息子もふっと自分の状態に気づき落ち着くのです。

そんなときに好奇心旺盛で色々自分でチャレンジしようとする子どもに、心配して手を出してしまわず、子ども自身が色々な事に気づき発見し自信をつけ、生きて行く力を身に付けていくもの、まさに「見守るケア」とはこういうことなんだとわかりました。

今までの私には考えられない大きな進歩です。「経験させること」と「見守ること」で私たち親子は一步前進できたような気がします。

未就学の時と違い小学校へ入ると、学校のルールやお友達関係など子どもを取り巻く環境も変わりストレスが多くなります。いくつになっても子どものケアは大切です。スキンシップ中心だった頃から段々と言葉かけが大切になり、距離の取り方も変化します。チャイルドケアでは「いのち」のケアとして、それぞれの年齢に応じ大切なことを学べるので、私の心にゆとりができ見守ることができています。チャイルドケアは、これから子どもの成長に合わせて、また私自身にとっても必要なことを学ぶことができるので、継続して勉強していくつもりです。



小学生編

学んだチャイルドケア、 まだまだ続くよ、これからも!!

CCI 武部美樹さん(大阪府)

11歳の息子と7歳の娘の母です。地域の児童館や子育てサークルなどで、ベビーマッサージや親子で楽しめるアロマクラフトを紹介しています。私自身もまだまだチャイルドケアを勉強中です。

チャイルドケアと出会ってから、早いもので約12年がたちました。きっかけは、息子を授かり、初めての子育てに奮闘しているときでした。初めての子育てで、なかなか思うようにいかず、落ち込むこともありました。そんなときに、育児書ではない、チャイルドケアの学習が私の励みになり、息子の母親は私だから、私らしく息子と成長していけばいいと気づかされました。今しかない息子との時間、今しかできない息子とのふれあい、を大切に考えられるようになりました。

息子が幼稚園の年少さんになると、

娘が生まれました。息子も妹ができ、すっかりお兄ちゃんらしくなりました。しかし、息子からするとこれまでの一人っ子の生活が一変するわけですから、息子との関わり方にも気をつけました。

赤ちゃんの時からしていたコミュニケーションを図るため、その日あったことやたわいもないことをたくさん語りかけながら、背中、お腹のマッサージをしました。私が息子をマッサージすると、息子は妹にマッサージをしてくれました。こうした『ふれあい』の成果もあって、兄妹は、互いを大切に尊

重しい、やさしく思いあっていると思います。

小さいころからの習慣で今でも、毎日ではないですが、寝る前や少し疲れているときに、マッサージをせがまれたり、ハグをせがまれたりします。そんな時間が母としてとても幸せに思います。

そんな息子ももうすぐ思春期を迎えようとしています。今まで、たくさん育んできたので、大丈夫!と自信をもって、しっかり見守りたいと思います。そして、まだまだ私のチャイルドケアは続くのです。

中高生編

チャイルドケアで出会った 仲間に支えられて

CCC 石井 直美さん(東京都)

地域で子育てサークルを開催したり、さまざまなボランティア活動に参加したりしています。高2の息子は野球部、中2の娘は吹奏楽部でそれぞれががんばっています。

私がチャイルドケアと出会ったのは、11年前、まだ福岡に住んでいた時です。出会うきっかけになったのは、ストレスで顔面神経麻痺になった後にアロマの勉強を始めたのがきっかけでした。

息子は生まれてすぐの大手術で2ヶ月入院していました。やっと抱ける時が来ても、なんだか実感がわかず、よそよそしさも感じるくらいでした。初めての出産のうえ、直前まで働いていて近所に知り合いもおらず、とても不安

で孤独な子育てをしていました。2年後に下の娘が生まれたころには友達もでき、寂しさはなかったものの、子育ての不安は常につきものでした。

福岡で開催されたスクーリングに初めて参加し、そのときの松本先生との出会いは衝撃でした。いのちの大切さ、そして生きるとはどういうことかを知ることができた第一歩でした。子育てに疲れきっていた自分に愕然としたけれども、同時に私の生きる力や、子どもたちへの愛情も、自然への感謝も



10年前



現在

目覚めて、パァーっと視野が広がりました。

そんな息子も今は高校2年、娘は中学3年になりました。この原稿を書く機会に、子育てを振り返ってみると、

実にいろいろなことがありました。学校に行けない時、お友達とのトラブルや辛いことがあった時、もちろん反抗的な時もありました。でも、チャイルドケアを学んだことによって、子どもたちが自分で解決できる力があること、生きていく力があることを信じることができるようになったので、自然にサポートできている気はしています。

10年前の課題レポートを見直していたら、「ノウハウやレシピを伝えることがチャイルドケアではなくて、皆さんの中に秘めている勇気をちょっと後押しするだけ」と、松本先生からコメント

いただいていた。私が子どもにできることも同じかなと思っています。

チャイルドケアとの出会いは、同時に素敵な仲間たちとの出会いでもあります。今でもずっと続いている大事な仲間との繋がりにとても感謝しています。今は孤独ではなく、不安も解消する術が身に付き、子どもの自立にむけてチャイルドケアを実践し続けています。そして、子どもたちにも伝えていきたいと思っています。

チャイルドケアは最初は子どものためのケアだと思っていたけれど、学んでいくうちに、「生活すること」「生き方」

「ライフスタイル」だと思うようになりました。

ケアの方法ではなく、一つ一つではなく全体というか、私たち人間だけのケアではなく、とりまく環境全てのケアだと思うからです。

テキストにつままっていることは、生活しながら実践して自分のものになっているので、まだまだ実践中です。一人ではなく、松本先生や仲間との繋がりがあってこそ、迷ってもぶれてもまたこの道に戻ってこれるのです。まだまだ私はチャイルドケアを続けていきます。

いのちを慈しみ大切にする学習

CC加盟校 Happy Children 柏 雅美さん (大阪府)

現在、加盟校としての本格活動準備中です。今年はマタニティ並びにキッズヨガのインストラクター資格も取得。アロマセラピーも合わせ、周産期、産褥、チャイルドの各ケアを中心に、こころと身体の両面からのトータルケアを目指しています。E-mail:mashia1103@yahoo.co.jp

チャイルドケアというものを考えるようになって、一番変わったのは「子どもだから云々」とか「大人だから云々」という制限感覚が希薄になったことです。これは、子どもも大人も一つの「いのち」、自分も一つの「いのち」。即ち、個々が対等なもの・同じものであると捉えることができるようになったからだと思います。この感覚を持ってから、他人に対して、腹を立てることが少なくなりました。

CCC受講時、子どもがいないので自身をモデルにしていたのですが、子どもにすると自身ですのとの感覚差に不安と疑問を抱えながらも、課題を進めて行くうちに、自身の身体の変化や心地よさというものを通じ、「これって、子どもだけじゃなくて、誰にでもつかえるんじゃないの?」とふと気付

いたのです。自他も年齢も関係なく行えるケアなんじゃないか、と漠然とした思いがありました。

この思いが「全てのいのちのケアとしてのチャイルドケア」に明確に結びついたのは、スクーリング特別編「いのちのケアについて考える」に参加した時です。

その時に「人は皆、いくつになっても誰かの子ども」という話ができました。自分はいくつになっても自分の親の子ども、親だって祖父母の子ども、祖父母は曾祖父母の子ども…エンドレス。「人(生き物)=子ども(チャイルド)」ひいては「個=子=いのち」という式が、ストンと心に落ちた瞬間でした。この直後、東日本大震災があり、「いのち」について深く考えさせられた時期でもあ

りました。

現在、日本では明日の食料の心配をすることや突然爆弾が落ちてきたりして死ぬなんてことはありません。概ね明日があることを疑わずにいられる一方で、いじめや虐待など、いのちを軽んじる事件が後を絶たない非常に不安定な時代です。

今、「いのち」について考える機会をつくり、「いのち」の在り方を投げかける。そして、全ての「個(子)」を「いのち」と捉え、その「いのち」を慈しみ育み大切にすることを各人自ら気付いてもらえる経験を提案すること。

「チャイルドケア」の必要性は、ここにあるのではないかと思います。



知覚動考

私たちのチャイルドケア

地元で、仲間で チャイルドケアを 楽しもう! 高めよう!

現在、チャイルドケアのスクーリングは、東京・大阪と日程も限られています。しかし、加盟校主催の企画講座も加わり、自主的にチャイルドケアを楽しんだり、高めたりする場が増えました。通信講座は、自分の都合で学ぶことができる大きなメリットがありますが、同時に自主的に行わなければなりません。そのため孤独を感じたり、モチベーションが下がったり、自己判断で誤った理解のまま認識してしまうことも多いものです。チャイルドケアでは仲間を作り、深め合いましょうと提案していますが、なかなか自ら挙手してその輪を作るところまでいくのは

難しいこともあります。しかし同じ講座で学び、同じ思いである仲間ができれば、より楽しい充実したチャイルドケアになっていくのではないのでしょうか?

今回、CC加盟校主宰者の野澤さんから、スキルアップと充実した仲間作りを目的に、チャイルドケアの活動グループ「ハミングバード」として発信するために、新たにメンバー募集をしたいというお話をいただきました。それをきっかけに各地で「私も! 仲間を作りたい」という声が集まりましたので、ご紹介したいと思います。チャイルドケアという子育てスタイルが同じ

であれば、意気投合することも多いものです。地元のママ友とも違った安心感も得られます。また一人じゃできなかった行動も、同じ思いで集まれば行動もできるようになります。

情報交換する交流会やそれぞれのチャイルドケアを伝え合う勉強会、さらには地元で企画講座や、スクーリング開催を主催することも可能になります。ぜひ、地域に限らず情報交換したいという方はご連絡してみてくださいね。ただし、くれぐれも常識的に節度をもってご連絡するようお願いいたします。

(チャイルドケア本部)

メンバー募集 & 活動と告知

チャイルドケア活動グループ

ハミングバード

一緒に講座や勉強会、イベントの企画・開催をしてチャイルドケアの経験と学びを深め、伝えていきませんか?!

CCC、CCIに合格したけれど思い通りに活動できない、一人では何をしたいかわからない、など悩んでいる人も多いと思います。

スクーリングなどに参加して、同じ学びをしている人たちとお話すると、励まされたり刺激を受けたり意識も高まりますね! このようなつながりを継続できれば、できることも今まで以上に増え、可能性も広がるの

ではと、関東地域のグループとして発足いたしました。

実際に私たちはスクーリングで出会い、そこから情報交換等連絡を取り合いながら、仲間として深めてきました。勉強を重ねながら、もっと同じ思いを持っている仲間を増やしていくこと活動を広げることも必要だと思うようになったのです。

そして自主的に勉強会を重ねたり、具体

的に松本先生から学ぶ機会を増やしたりしながら、現在受講中の方やMC会員の方へのお手伝いや、まだチャイルドケアを知らない方に知っていただく機会を作りたいと思ったのです。そして、先日、松本先生を講師に迎えて企画講座を開催することができました。

実は、今回の開催にあたっては、昨年東海地域の加盟校である前田さんの企画を



CC 加盟校 おひさまのたね

野澤 智恵子さん



CCI

白岩暖美さん

知り、ぜひ開催したいと思ったのがきっかけです。企画開催にあたり前田さんにご連絡し、その内容や準備についてのヒントもいただき、地域を超えて仲間同士のつながりができたことも大きな成果でした。今後も企画講座のほか交流会やイベントもやっていくつもりです。

イベントについてはグループ発足以前より春と秋、というスタンスで何回か開催していました。今回、この呼びかけで集まったメンバーでは夏に交流会をしたいと思っています。

グループ名の「ハミングバード」は、はちどりのこと。「はちどりのひとしずく」のお話をご存知の方も多いでしょう。「わずか1滴のしずくでも、できることを見つけて行動していこう」という意味もこめて松本先生からいただいたネーミングです。

小さな行動を一緒に束ねて大きくしていくだけの方、ぜひお問い合わせください。メンバーはCCC、CCI、加盟校の方とさせていただきます。

関東以外の地域で、ハミングバードの地域グループを立ち上げてくださる方も募集しています。活動の方法や情報を共有することで、助け合いができると思います。地域を超えて互いに情報交換や活動報告をしながら、チャイルドケアを高めていきましょう。

●お問い合わせ先

CC加盟校 おひさまのたね 野澤 智恵子
E-mail:ohisamahuman@yahoo.co.jp
インターネットのコミュニケーションサイト「mixi」では、チャイルドケアに興味のある方ならばどなたでも参加できる「チーム チャイルドケア」を公開しています。仲間作り、個々の活動告知や報告など、『チャイルドケア』を共有できます。ご覧ください。

4月
30日

「チャイルドケアのタッチケア」講座 無事終了!

グループ発足後、初の企画として、4月30日に都内会場にて講師に松本先生をお招きして『チャイルドケアのタッチケア』講座を企画開催しました。

先生からはスクーリングとはまたちがう角度からのお話、そして実技のご指導をいただきました。実際に人に触れるという実技があったことで、講義のお話の内容も、手と体と心で深く理解できました。受講された皆さんにはご家庭や職場にフィードバックしていただけることと思います。受講者は、一般の方からCCIまでご参加いただきました。



ハミングバード 企画講座

第2弾 開催決定!!

9月28日(日) 松本先生による「チャイルドケアのカラーセラピー」講座を企画しました。詳細は15ページをご覧ください

九州

手当ての大切さを伝えたい 「ハートin ハンドケア」発足!

CCC 稲垣昌子さん (大分県)

私は大分で、アロマ・クレイ教室“kurin”を主宰しております。チャイルドケアとの出会いは娘の誕生がきっかけでした。育

むケアから見守る、看取るケアへ…。手と手が触れ合うことで癒され、安心出来る。そんな“手当て=ケア”の大切さをチャイルドケアから学びました。

その想いを「ハートinハンドケア」という活動名でこれから活動をしていきたいと思っています。チャイルド(いのち)ケアの心を大切に、子育て中のママだけでなく、これから子育てをされる方から子育てを終えた先輩ママも、ご家族へ介護をされている方も、色んな立場から“ケア”につい

て語り合い、ハンドケアの大切さをたくさんの方へ伝えていきたいと思っています。

九州の方、まずは一緒にチャイルドケアについて語り合いませんか? 仲間と共に学び、心の繋がりが深められたら嬉しいです。

8月頃に第一回目の交流会を計画しています! ぜひ、お気軽にお問い合わせください。

●お問い合わせ先

アロマ・クレイ教室“kurin”
稲垣 昌子
Tel:090-3013-9586
E-mail:sp6k72r9@able.ocn.ne.jp
アメブロ
<http://ameblo.jp/kurin-mako/>





東海地区の チャイルドケア仲間募集します!

CCI 山本 美津子さん (愛知県)

私は、大阪で生まれ育ちました。今は愛知県で暮らしています。

長男を授かってからは、「良いお母さんにならなくては。良い子に育てなくては」と気負っていました。そんなときに、チャイルドケアに出会いました。

チャイルドケアに出会って4年経ちました。学びの中で少しずつ肩の力が抜けて「良いお母さんになる」ために頑張り過

ぎていたのを止めました。今は、子供と一緒に気づき、共に考え、共に成長していけることを楽しんでいます。

この愛知県でも、たくさんの方が「チャイルドケア」を学んでいることだと思います。学びを共有出来る仲間に出たいと思いました。

私は、まだ「チャイルドケア」の活動をしていませんので、この「お友達募集」が、

初めての活動になります。皆様と時々、お茶でもしながら会ってお話しませんか?

そして、皆様と一緒に「チャイルドケアの輪」を広げていけたらと思っています。宜しくお願いいたします。

●お問い合わせ先

TEL:090-3162-3663

E-mail:angel.smiling0107@gmail.com

京都でランチ交流会しましょう!

CC 加盟校ハニーサックル 藤野智子さん (京都府)

はじめまして。私は娘を妊娠中の12年前からチャイルドケアの学習をはじめ、2007年にCCCを取得、2011年にCCIになりました。

加盟校になったものの、未だ活動は準備中のままです。私も最初はそうでしたが、何か活動はしたいけれど、1人ではなかなか自信が持てず資格を活かしていないのは勿体無いことだなとしばらく悶々としていました。子どもが幼稚園に通うようになってから、マイペースですが地道な活動を少しずつ重ねています。

最初はスクーリングでの託児ボランティアからスタートしました。それから地域での子育て支援センターでの託児の仕事や、子どもの小学校のPTA行事で「バスボム作り」の講師活動などを通じて、赤ちゃんやお母さま方との触れ合いから少しずつ私にも出来るという自信に繋がっていきました。

現在は月一回、地域の子育て支援センターでベビーマッサージの指導をさせていただいています。チャイルドケアを受講中の方から、CCC、CCIを取得された仲間が集まって、交流会を開催したいです。皆さんと情報交換しながら、季節ごとにホームケアやタッチケア、食育などの勉強会、さらには関西で親子イベントを開催するのが夢です。皆が集まってチャイルドケアの普及を少しずつでも行っていききたいと思います。



第一回チャイルドケア交流会

●場所／京都〔JR京都駅〕

●日時／9月6日〔土〕11時から13時

ご参加の方は私の方までお気軽にご連絡下さい。皆さんと一緒にランチをしながら、交流を深めたいです。当日ご参加出来ない方も、今後の活動にご参加を希望の方もご遠慮なくお問い合わせ下さい。

●お問い合わせ先

PCメール／cocom37@hotmail.com

携帯メール／tmtm73@i.softbank.jp



松本美佳先生の eラーニング講座 & ワークショップ

5月より、八洲学園大学の公開講座で、「チャイルドケアeラーニング講座」が開講されていますが、通信講座で学ばれたアップデート版になっており、MC会員の方も受講されています。すでに終わっている回は、オンデマンドで受講することが可能です。最終講義の1か月後まで、何度でも視聴できます(9月末まで配信予定)。単発受講することも可能ですので、通信講座とはまた一味違った学習でチャイルドケアの理解を深めたい方はご利用ください。

受講に関する詳細、お問い合わせは、下記の八洲学園大学のHP、もしくはお電話でお問い合わせください。

チャイルドケア講座 eラーニング編

自然療法(ハーブ、アロマ、東洋医学、タッチケア他)で育児&育母

●時間/10:30~12:30 ●受講料1~7回/3,000円 8回/4,000円 ※最終講義から1か月オンデマンド受講が可能。

オンデマンド

序章 チャイルドケアの概念

チャイルドケアの概念を中心に自然療法やケアにおける考えについて学習します。「JAAチャイルドケア/スクーリング基礎編」と同内容になります。

6月19日

子どものためのハーブティー

葉草である「ハーブ」は、生活の中で取り入れやすい初めての「家庭薬」です。利用しやすいハーブや方法を取り入れることで、ホームケアの幅を広げます。

8月7日

チャイルドケアのための 東洋医学

伝統療法でもある、東洋医学の基礎的な考えを理解し、その知恵を子育てや家庭で生かしていく方法を学びます。

オンデマンド

チャイルドケアと自然療法

チャイルドケアでは、どのような自然療法観をもち、どのように育児、生活に生かし取り入れていくかを考えていきます。ホリスティックな考えを持ち、子育て、生活、人生観まで考えてみましょう。

7月3日

子どものためのアロマセラピー

五感のひとつである嗅覚を利用するのがアロマセラピーの特徴です。嗅覚がどのように子育て、生活に関係してくるのかという基礎的なことを理解しながら、アロマセラピーの有効な利用の仕方を学習します。

8月21日

タッチセラピーと ベビー&チャイルドマッサージ

注目されているベビーマッサージ。チャイルドケアでは、ふれあいは、ベビーの時期だけではなく、命あるものすべてに必要なものとして考えます。ふれあいのための大切な心構えとともに、基本的な手の使い方や加減を動画を通してお伝えします。

オンデマンド

子どものスキンケアと足の健康

皮膚同根とはどのようなことでしょうか。またそれがどのように肌に関係するのかを考えていきます。スキンケア、フットケアの必要性を理解し、ホームケアのQOLの向上を目指します。

7月17日

子どものためのライフスタイル

子育てで最も重要といえるのが、ライフスタイルです。未就学までに行うべき家庭教育とはどのようなことでしょうか？改めて「健康な生活」とはどのようなことなのかを考えてみましょう。

チャイルドケア講座 ワークショップ

八洲学園大学公開講座(来校のみ)

夏休み! 子どものための子どもが楽しむ アロマセラピー

●時間/10:30~12:30 ●受講料/2,000円 材料費/1,000円

7月

27日

- 場 所/八洲学園大学(神奈川県・横浜)
- 対 象/6歳から小学校低学年までのお子さんが対象
(年齢の前後は相談に応ず)
- 持ち物/クレヨン、古新聞(机の上に敷くものです。
代用OK)汚れてもいい服装

この講座では、チャイルドケアの考えを基本とし、子どものための子どもが楽しむアロマセラピーを提案します。子どもの感性を引出し、五感を感じながら楽しむアート感覚いっぱいなワークショップです。夏休みのひと時を親子で楽しんでください。

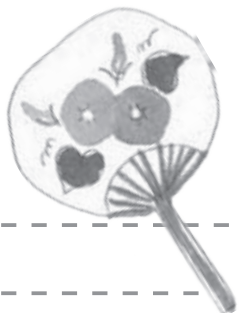
お申込み&お問い合わせ先

八洲学園大学

Tel/045-317-4401

<http://www.yashima.ac.jp/univ/extension/>

スクーリング&講習会のお知らせ



松本美佳先生による スクーリング

東京
大阪

東京／9月6日(土) 大阪／9月20日(土)

7つのコンセプトと7つの章

チャイルドケアで大切なのは「7つのコンセプト」を理解したうえで、7つの各章を学習することですが、テキストには明確にそれが記されていません。ガイドブックでは補足的にその説明をしています。ガイドブックを読まず終えている方もいるためにチャイルドケアを理解されぬまま学習を終えてしまう

方もいらっしゃいます。今期のスクーリングでは、テキストとガイドブックから理解を深める内容をご提案します。

すでに学習を終えられている方にも、新たな側面でのチャイルドケアを理解いただけるものになります。
(2013年12月11日以降の受講生は教材にガイドブックが含まれています。)

◆時間／10:00～12:30

◆対象者・受講料

MC会員／4,300円

JAA会員・JAS生／4,800円

その他一般／5,400円

チャイルドケア加盟校での通学講座受講生は、JAA会員と同じ費用でのご参加が可能です

ケーススタディ ロールプレイング勉強会

チャイルドケアでは、さまざまな母子の問題が質問されることも多いものです。実際によくあるケースを例に、実践的な対応の仕方を学びます。CCI講習会では、毎回行われるものですが、受講された方からは大きな反響をいただいています。

たとえば、風邪をひきやすいお子さんをお持ちのお母さんに相談されたら、どう答えますか？ 飲みやすいハーブティーを教えてほしいと質問されたらどう答えますか？ 答え方はさまざまありますが、チャイルドケアで大切な「寄り添うケア」「できることをていねいに」ということをポイントに考えていきます。

ロールプレイングとは、役割演技ともいい、現実にかかる場面を想定して、複数の人がそれぞれ役を演じ、疑似体験を通じて、ある事柄が実際に起こったときに適切に対応できるようにする学習方法の一つです。受講人数によって、

内容は若干異なりますことをご了承ください。

◆時間／13:30～16:30

◆対象者・受講料

MC会員／4,800円

チャイルドケア加盟校生／5,400円

※事前にチャイルドケアの基礎的な理解を深めていただくため、ガイドブックを読んでいただくか、スクーリング基礎編を受講されることをおすすめします。

●eラーニング講座・オンデマンド配信
(序章 チャイルドケアの概念) P12

●加盟校主催 P15



チャイルドケアインストラクター(CCI) 講習会

大阪／7月12日(土) 東京／9月27日(土)

CCIとして活動したい方のための指定講習会です。チャイルドケア講座を伝えていくために必要な各章の意図やポイントをおさえ、より認識を深めスキルを高める内容です。さらに、実践的な指導を目指すためのノウハウを、実技、ワークショップやディスカッションと幅広い内容で行います。

午前中はCCIの基本的スキルと試験内容について。午後は毎回内容を変え、旬な問題も取り上げながらの実践的な内容になります。

また会員同士の交流も深まり、さまざまな情報交換の場ともなっています。すでにCCIの方にはスキルの確認の場にもなる貴重な機会です。

※なお、このCCI講習会は来年より年2回(春・秋)東京会場のみの開催となります。

◆会場

大阪 新大阪丸ビル本館

東京 都内指定会場

◆時間

10:30～16:30(途中休憩あり)

◆参加資格(以下の条件を満たす方)

①CCCかつMC会員の方

②ガイドブック保有者

◎購入希望の方はJAAまでお電話にてお申し込みください。

◆受講料

初回参加／6,500円

復習受講／3,300円(一律)

◆締め切り／各会場開催2週間前

※開催1週間前に、ご案内と合わせて補足テキストをお送りします。開催日までに指定のページを熟読いただきご参加ください。

第14回 CCIライセンス認定試験実施要項

CCI認定試験は、年に2回(春・秋)実施しております。この秋から面接試験をなくし、筆記試験のみとなります。以下の実施要項や期日をご確認のうえ手続きください。CCIになられた場合は、チャイルドケア加盟校を主宰するチャンスにもつながります。加盟校ご希望の方は合格後に加盟校登録を行い、指導者講習会にご参加ください。

◆受験条件

- ・CCCかつMC会員
- ・ガイドブック保有者
- ・CCI講習会の参加者

◆試験内容

在宅：筆記試験(120分)
企画書作成(90分)

◆受験料／21,600円

◆受験手続き締切／10月3日(金)

◆試験問題到着日／10月10日(金)

◆提出期限／10月20日(月)消印有効

※受験願書はCCI講習会の参加時に配ります。既に受験条件を満たした方で、直近のCCI講習会に参加できない場合は、JAAまで受験願書をご請求ください。

チャイルドケア(CC)認定加盟校 指導者講習会

CC認定加盟校開講に必須の講習会です。ご希望の方は加盟校登録をお済ませのうえ、講習会にお申し込みください。当日はCC本部との面談を兼ねた加盟校規約の再確認を行い、その後松本先生に講座指導に当たった心構えやポイント、注意点などをレクチャーしていただきます。この講習会への参加で認定加盟校登録の手続きが全て終了となり、チャイルドケア・コーディネー

ター(CCC)のライセンス対応通学講座の開講が可能です。既に加盟校となられた方の復習にもおすすめです。

◆日時／11月29日(土)13:00～17:00

◆会場／東京都内指定会場

◆内容

【規約説明会】認定加盟校の規約の再確認と、CC本部との情報共有、質疑応答

【指導者講習会】松本美佳先生より、CC講

座の指導のポイント、主宰者としての心構え等のレクチャー、質疑応答

◆受講料／10,800円

復習受講／5,400円

◆認定加盟校登録の条件

- ・MC会員であること
- ・CCIライセンス取得者であること

※開校のための案内資料をご希望の方は、CC本部までご連絡ください。CCI取得済みの方であれば資料請求が可能です。

スクーリング、講習会のお申し込みについて お申し込みは開催2週間前までお願いします。

●お名前と受講番号(もしくは会員番号)をご用意の上、お電話にてお申し込みください。

TEL: 03-5928-3100

●お申し込みいただいたスクーリング、講習会費用は、お申し込み当日もしくは翌日までに下記指定銀行口座のいずれかにご送金ください。お振り込みの際には、お名前の前に必ず数字の「2」(判別NO)をお書

き添えください。

●お申し込みいただいたスクーリング&講習会のキャンセルは、その開催日の1週間前(土日祝を除く)までとさせていただきます。開催日1週間以内のキャンセルの場合は参加費用のご返金はできませんので予めご了承ください。

●セミナー開催日当日のお申し込みはでき

ません。

●参加者が開催人数に満たない場合には、中止となることがあります。開催の可否は、各会場2週間前に決定しますので、開催間際のお申し込みを避け、お早めにお申し込みください。

加盟校主催
スクーリング
基礎編

チャイルドケアの 7つのコンセプトを深めよう!

お近くにお住まいの方はぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか?
基礎編の内容だけではなく、学習する上でさまざまな情報を発信されています。

◆対象者・受講料／チャイルドケア講座受講生・JAA会員・JAS生 3,000円／一般 4,000円

●アロマエステサロンサシェ・スクール

鴨下 徳子

アロマの香りと美味しいハーブティーを飲みながら楽しく講座を学べます。お気軽にご参加ください。

◆日時／7月21日(祝)／8月17日(日)
10:00～12:00

◆場所／アロマエステサロンサシェ・スクール(東京都小平市)

◆お申し込みお問い合わせ先

電話またはHPメールよりお申込みください

090-8514-2604

<http://sachet-school.com/>

ブログ

<http://ameblo.jp/sacht20080420/>

●アロマケアスクールMommy

前田 智巳

お子様と一緒に受講も可能です。またハーブティーを飲みながらのリラックスタイムもあります。お気軽にお問い合わせください。

◆日時／7月3日(木)／8月27日(水)
9月25日(木)

10:30～12:30

◆場所／愛知県豊橋市

◆お申し込みお問い合わせ先

080-1616-0895

<http://www.mommy-aromacare.com>

HPよりお申し込み可能です。



予告

アロマケアスクール Mommy 企画講座

「チャイルドケアの思春期のケア」

◆日時／11月9日(日)

◆場所／愛知県豊橋市

「穂の国芸術劇場 研修室」

◆内容／講義&ワークショップ

◆講師／松本美佳先生

※詳細は次号またはHPでご案内します

関東チャイルドケア活動グループ「ハミングバード」企画講座

第2弾 開催

チャイルドケアのカラーセラピー ―色と心とチャイルドケア―

日頃、私たちは様々な色に囲まれ生活をしています。家庭の中ひとつをとっても、子どもの部屋、リビング、寝室など私達は居心地の良い色を選んで暮らしています。

色を意識することは、その時の自分の気分や心の状態ととても深い関係にあるようにも感じます。以前、スクーリングで松本先生

が色のお話をされた時にもっと心と色について知りたいと思い、今回ハミングバードの企画講座としてお願いすることになりました。ぜひ皆さん一緒に学びませんか?

◆日時／9月28日(日) 13:30～16:30

◆講師／松本美佳先生

◆内容／講義&ワークショップ

◆会場／東京都内指定会場

◆費用／3,000円+会場費(参加者人数割り)

◆お申込み&お問い合わせ

CC加盟校おひさまのたね

野澤智恵子

ohisamahuman@yahoo.co.jp

【スクーリングの託児について】

●JAA主催スクーリングでは、ボランティアの協力がある場合に限り、会場内での託児をお引き受けします。託児希望の方は、受講お申し込みの際に希望をお申し出ください。(託児料500円)尚、隣席での同伴参加もできますのでご相談ください。

●また託児ボランティアを随時募集しています。申し込み期日は各会場開催日の一ヶ月前まで。CCC以上でスクーリングに2回以上参加している方でししたらどなたでも可能です。JAAまでお電話ください。

【ガイドブックについて】

購入希望の方はJAAまでお電話ください。CCI養成講習会に参加の際には必須です。またガイドブックに含まれる内容は、チャイルドケアの核の部分となりますので、理解を深めるため学習

中からの購入を推奨いたします。

※2013.12.11以降に受講申し込みの方は教材に含まれます。

ガイドブック／4,320円

代引手数料／324円

お振込み先

●三菱東京 UFJ 銀行 池袋東口支店 普通 1920305

●ゆうちょ銀行 00170-4-122869

●名義／日本アロマコーディネーター協会

スタッフ おすすめ エコライフ

子供が野菜をモリモリ食べちゃう ドレッシング

合成保存料・合成着色料無添加で、遺伝子組み換えでない「なたね油」と産地が特定できる素材だけで作られています。とことん子供目線にこだわった味付けで、もっと野菜を好きになってもらうために作られたドレッシングです。

サラダだけでなく、しゃぶしゃぶのつけダレやパスタソース、冷や奴にかけて洋風にアレンジするなど、食材との組み合わせで、さまざまなお料理に活用できます。

- ❖定 価/780円(税抜)
- ❖JAA会員価格/741円(税抜)
- ※カモマイルクラブご登録後に会員価格が表示されます。
- ❖内容量/330ml
- 原材料/低温圧搾なたね油、玉ねぎ(北海道産)、醤油(小麦含む)、リンゴ(青森産)、砂糖(中ザラ糖)、酢、塩、パプリカパウダー、マスタードパウダー
- ❖賞味期限/6ヵ月
- ❖販売者/株式会社エコトバ

商品の詳細とご購入はカモマイルクラブで☆



www.chamomileclub-shop.com/

子供が野菜を 検索

加盟校
主宰者様へ

2014年9月

チャイルドケア・コーディネーターライセンス 認定試験実施要項 —通学講座：受験手続きの流れ—

- ◆試験日/2014年9月28日(日)
- ◆受験資格/2014年9月26日(金)
現在、協会が指定する各スクールの所定のカリキュラムを修了し、修了証書を有している者(所属スクールの修了証のコピーが必要)
- ◆試験形式
理論試験(記述・選択)90分
小論文60分

- ◆受験料/10,800円(税込み)
- ◆振込先
●三菱東京UFJ銀行 池袋東口支店
普通 1920305
日本アロマコーディネーター協会
- ゆうちょ銀行
00170-4-122869
日本アロマコーディネーター協会

- ◆受験願書の提出期間
2014年7月28日(月)～
2014年8月29日(金)(必着)
※認定試験の合格発表は10月上旬、MC会員登録手続きの期限は11月末、登録者へのライセンス証等発送は12月下旬です。
- ※ホームスタディ講座の受講生は別規定となります。

Congratulations

今後の更なるご活躍を心よりお祈りしています。

◆チャイルドケア・コーディネーター 合格者の皆さん(敬略称 19名)

今泉実苗/橋香朱美/加藤貴菜/安田巳記/
矢田与志子/浅見裕子/三國祥子/田口千鶴/
辰巳さおり/渡辺美香子/大竹優子/滝井
恵美子/米倉麻貴/平谷絵梨/池野明子/川
合恵美/前田紋奈/文珠広子/大谷亜希子
(2014.2/1～2014.5/15付け)

◆チャイルドケア・インストラクター 合格者の皆さん(敬略称 8名)

近藤優子(千葉)/藤井美江(千葉)
/廣川麻子(千葉)/告真紀子(茨
城)/今泉実苗(東京)/森かおり
(広島)/武部美樹(大阪)/山本
美津子(愛知)

MC 会員の更新手続き

下記の受講番号に該当する方は、今後のレポート提出にはMC会員の更新が必要です。(更新手続き書類7月上旬郵送)更新をされない方は、次号より本誌ピーカーブーのお届けもストップします。予めご了承ください。

●受講番号

13CH106/13CH108/13CH109
13CH110/13CH112/13CH113
(最初の5桁)
AR13-6/AR13-7/AR13-8/AW13-7
CH13-5/CH13-6/CH13-7/CH13-8

原稿募集! メンバーズメールや活動報告など誌面を利用して発表してみませんか?

日本アロマコーディネーター協会 チャイルドケア本部

〒171-0022 東京都豊島区南池袋 1-25-9 今井ビル 5F TEL/03-5928-3100 FAX/03-5928-3500
E-mail/info@childcare-jp.com URL/www.childcare-jp.com/ ●MC会員専用ページログイン方法/ログインID:CC パスワード:mckaiin